

2016 年度新聞学研究所事業報告

○共同研究プロジェクト

「映像情報のカテゴリー化をめぐる研究」

研究代表者 大井眞二（日本大学法学部新聞学科教授）

研究分担者 岩淵美克（日本大学法学部新聞学科教授）、小林義寛（同教授）、
佐幸信介（同教授）、米倉律（同准教授）、
宮脇健（日本大学危機管理学部専任講師）

研究目的

本共同研究は 2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災後の TV 放送の報道内容を分析し、災害時におけるニュース報道及び他の関連する映像情報を量的、質的両面から研究する上で必要な基盤整備としてのデータベース構築を目的として、平成 25 年度からその研究を始めた。

現在、研究代表者らは 2011 年 3 月 11 日の発災から今日に至るまで、東京キー局（6 局）の大震災に関わる TV 映像の記録・保存を進めており、映像資料データ量は 80 テラビットを超えるレベルに到達している。この映像記録は JCC の MaxChannel だけでなく大量の外付け HDD に蓄えられている。

これらの映像データは東日本大震災という未曾有の危機を保存したという事実のみの価値だけではなく、その後も震災関連の TV 映像を長期間映像データとして保存していることに、今後のジャーナリズム研究およびマスコミュニケーション研究の分野にとって大きな価値をもつ。

そこで、本研究では平成 26、27 年度に引き続き、①映像データ保存とニュース及び他の関連する映像情報の分類を初めとするデータベース構築のための作業を行い、その上で、②報道内容の質的、量的分析を行う。

研究経過

大震災発災から 5 年を迎えた平成 28 年度は、これらの貴重な TV 映像データを将来に向かって研究活動に活用するため、NHK 放送文化基金の研究支援——「アーカイブ構築とその利用に関する研究」（平成 27 年－28 年）とのリンケージを図りながら、以下の研究課題を具体的に進めてきた。① TV ニュース報道及び他の関連する TV 映像データの追加逐次保存と、これまで記録・保存した TV ニュース報道及び他の関連する TV 映像情報の分類・整理というデータベース構築のための作業。その後②映像情報の内容の量的、質的な分析を通じて、東日本大震災関連のニュース報道など TV 映像情報の特徴を明らかにするための基礎的研究。そして、③データベースに蓄積している膨大なデータをどのように利活用するかについての、メタデータの作成の方法や特徴に関するパイロット研究を進めてきた。

こうした研究成果は、今年のシンポジウム（「地域ジャーナリズムの課題と可能性(2) 東日本

大震災が地域メディアに問いかけたもの」(平成28年2月20日、日本大学法学部新聞学研究所主催)において中間報告を既に行ったが、小括的な成果報告としてシンポジウム(平成29年1月28日、日本大学法学部新聞学研究所主催)と、本誌10号・特集「“3月ジャーナリズム”化する震災テレビ報道～東日本大震災の映像アーカイブ研究から～」でまとめている。なお本新聞学研究所のアーカイブ化事業の経緯については、同誌10号所収論文「東日本大震災TV映像アーカイブ化の試み—日本大学法学部新聞学研究所のアーカイブ化事業に関する覚書」において詳述しているので、参照されたい。

○シンポジウム

テ ー マ	「“3月ジャーナリズム”化する震災テレビ報道～東日本大震災の映像アーカイブ研究から～」
開催日時	平成29年1月28日(土) 14時30分～17時30分
場 所	法学部10号館3階1032講堂
主 催	日本大学法学部新聞学研究所
研究報告	①大井 眞二 日本大学法学部新聞学科教授 ②米倉 律 日本大学法学部新聞学科准教授 ③原 由美子 NHK放送文化研究所研究主幹 ④加藤 徹郎 法政大学講師
司 会	大井 眞二
コメンテーター	大森 真 飯館村役場/元テレビユー福島報道局長 八谷 昌幸 NHK報道局チーフプロデューサー

○研究指導

名 称	新聞学研究所 2016年度メディア・イノベーション講座
開催期間	平成28年9月8日(木)～9月9日(金)(1日3時限編成)
場 所	法学部10号館1042講堂
受講生	54名
内 容	開講式・ガイダンス 湯浅 正敏 日本大学法学部新聞学科教授 「カンヌライオンズ2016 クリエイティブのトレンド」 佐藤 達郎 多摩美術大学美術部共通教育センター教授、元博報堂 「新聞社のイノベーション」 平 和博 朝日新聞社IT専門記者 「日本映画界にブレイクスルーは起きるのか」 富山 省吾 日本アカデミー賞協会事務局長、元東宝映画社長 「ソーシャル時代のテレビ報道」 足立 義則 NHK報道局ネット報道部副部長

「実践キャラクター論」

大野 茂 阪南大学国際コミュニケーション学部教授

「出版大変革はいまや最終コーナーだ」

鈴木 宣幸 講談社編集総務局長